

令和8年度 第2回 「知事と語る やまなしづくり」結果概要

対話テーマ:国スポ・全スポに向けた人材育成と競技環境の整備について

県では、本県が目指すべき姿「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」の実現に向けて、知事が直接、幅広い層の県民と意見交換をすることで、県民が抱えている課題を把握し、その解決や新たな施策の立案等に生かしていきたいと考えています。

今回は、「国スポ・全スポに向けた人材育成と競技環境の整備について」をテーマに、国スポ・全スポの競技関係の皆様と意見交換を行いました。

【日時場所】 第1回 令和8年7月28日(火) 第1部:午後2時30分から 第2部:午後3時45分から 県庁防災新館4階401・402会議室
第2回 令和8年8月 6日(木) 第1部:午後1時30分から 第2部:午後2時45分から 県庁防災新館4階401・402会議室

【対話相手】 17名

(主な意見等)

○現状、小瀬の武道館などには冷暖房があるが、その他の県の体育館には整備されていない。年間を通して競技活動ができるよう、体育館への空調整備をお願いしたい。防災機能の強化にもつながる。

○山梨県以外の都道府県では、市町村をまたいで地域クラブを作ることができる。山梨県でも地域の実情に応じた地域クラブの創設について認めていただきたい。

○県内大学の有望な選手であっても、県内に就職先がなく、卒業時には他県に行かざるを得ないという現状がある。アスリートのセカンドキャリア支援のため、山梨県に戻って来られる環境をつくっていただけるとありがたい。

○山梨のスポーツ界を変えるためにも、県外から山梨に来てくれる人を大切にしたい。「順位獲得のためだけの県外選手獲得は行わず」という考え方は変えていただきたい。

○岡山県では、「新体操の聖地」化に取り組んでいる人がいる。県内でも聖地といえる市町村がいくつも市町村があるので、国スポにもそのようなものを期待する。

○国スポに監督や選手を派遣する際、コーチやトレーナーなどのスタッフの派遣費は団体で負担をしている。派遣費の補助について拡充検討をお願いしたい。

○選手は1位になることを目指して取り組んでいる。知事には「総合優勝を目指す」ということを公言してほしい。

○健常者と障害者とでルールが同じ水泳などで、一緒に試合をしたり、時間帯を重ねるなどできれば、障害を持っている本人だけでなく支えている家族や関係者の力になる。そういったレガシーを残すことができればありがたい。

(知事(県)の主な発言)

○緑が丘や北麓公園の体育館について、空調の整備やそれに向けた調査を行っているところである。

○国スポが終わってからも選手が定着し、指導者として山梨県のスポーツ界を支えていただくというようなマッチングの仕組みはとても大事だと考えているので、しっかりと進めさせていただく。

○聖地化については、地域にどうやって根づいていくかを、今後競技団体の皆様と伴走しながら一緒に考え、形にしていきたい。

